



911002

2603

I-0426

昭和八年八月

大日本協會に就いて

附足跡拾録

秘

大日本協會



911002

2604

17

I-0426

大日本協會に就いて

一、大日本協會の發生

滿州事變の突發後外務省情報部を中心としまして各省の中堅の人々が集りまして情報委員會と云ふものが出來各省協力して内外輿論の喚起に一步を踏み出さうと云ふ議が起りましたが從來行ひ來つた講演出版等の如き効果を一時に求むるもの以外に眞に國家負擔の重責に任じつゝある隠れたる人材を四方に求め、その精神的聯絡及相互扶助をはかる機關の必要を力説する者があり、一同之に賛して昨年七月大日本協會は生れたのであります。

二、大日本協會の本質

大日本協會の發生は以上の如くであります、然らば協會の本質は何であるか、そは大日本協會の創立者及この道業に當る人々の「我日本の柱とならん」と云ふ確信であり覺悟であります。釋尊の釋尊たる所以の本質は「我一切世間の依止者とならん」と云ふその確信と覺悟であります。一切世間の依止者たるの確信を失つた釋迦の存在は無價値なる如く「我日本の柱たらん」と云ふ確信を失つた大日本協會の存続は無用の長物であります。従つてこの道業に従事する人々は或は



911002

2605



I-0426

二
劍樹刀山の上或は釜湯爐炭の中と雖もこの信念を以て一貫するの覚悟が必要です。

三、大日本協會の機能

一、後進の指導養成

二、同志の聯絡及相互扶助

三、調査研究

荀子曰く「治人ありて治法なし」と。治法は治人ありて始めてその効を全うするものであるとの見地より大日本協會は同志たるべき人材の發見は乞食が物を拾得するが如きものではありません。

孔子は「朋有り遠方より來る亦樂しからずや」と言ひました。釋尊が王舍城耆闍崛山の法華經の説法に於ては十方世界より分身の諸佛が來集しました。大日本協會が四方に人材を求むるに就いてもかくの如くでなければなりません。こゝに於て大日本協會を構成する人々が先づ精進力行してその眞なるものを示顯して居ることが前提となります。かくて大日本協會の一員たるものは常に何事か眞摯なることを爲しつゝあらねばなりません。即ち同僚に對しては誘接後輩に對しては指導上長に對しては勸善と云ふが如く、一貫不斷精進の事實が無ければなりません。この事實の上で求道心若くは發菩提心とも稱すべき人生の深みに觸れて共鳴した同志でなければ

ならぬのであります。利害を以て相結ぶ朋黨比周では何んにもなりません。

大日本協會は東光書院を以て職員の修道場たらしむると同時に後輩の指導養成をなす教育機關たらしめて居ます、この精進の事實の上と同じ努力をなしつゝある地方の同志の發見及聯絡相互扶助をはかることは協會の機能の第二であります。これらの人材の基礎の上に我等何をなすべきかを調査研究することはその機能の第三であります。これが直ちに非常時日本の國策たらねばなりません。

四、大日本協會の今後

大日本協會は精神運動でありますから永續性が無ければ効果は上らないのであります。しかるに一般世間で心配することは財政の永續が可能なりや否やであります、しかし乍らかくの如き懸念は大日本協會を一般の財團法人何々會と稱するものと混同してその本體を金に在りとする謬見であります、經濟を本體とするものは金が無くなれば消滅するのであります。精神を本體とするものにとつては金がつたり無かつたりすることと精神の存続とは無關係であります。大日本協會を構成する人々の救世済民の熱情が消滅して始めて大日本協會は消滅しますが金の有無によつては大日本協會は断じて消滅しないのであります、但し金のみならず、キリストの肉

三

S 911002

2607

S 911002

2606

體の消滅は決してキリスト教の消滅を意味しなかつたのであります。これ位の覺悟と確信とがなければ大日本協會は初めから無くもがなの存在であります。凡て精神的事業の永遠の價値を決定する最後のものはそれが如何なる覺悟に於て爲されたかに在ります。覺悟は實に一切であります。

附 足 跡 拾 録 (第一輯)



911002

2609



911002

2608

I-0426

序

大日本協會創立(昭和七年八月)より現在(昭和八年七月)に至る本協會職員の地方行脚の足跡拾録であります。創立當初より本年三月に至るまでは協會の設立準備時代とも稱すべく種々なる事情の爲め本格的の活動が出来なかつたのであります。眞に活動し初めたのは本年四月以降であります。編輯技術の上から第一部には(現に農村社會事業を行へる人及其の顧問的地位に在る思想家、宗教家を集め第二部に(中央地方に相當影響を興へつゝある一般宗教家、教育家及識者を)集めました。關東、關西九州と吾等の行脚の跡を點検すれば本協會が求むる人物は都會よりも農村に在ることを發見するのであります。それは、農村は國家の細胞であり單位であります。都會は國家の單位ではないからであります。農村社會の構成原理は日本の傳統的精神たる相互扶助の道義であるに反し都會構成の原理は貨幣を中心とする利害を基として居るが故に道義的に價值ある事業は農村に於てが都會に於けるよりも成立し易いからであります。且つ又農村は工商の社會と併立すべきものでなくて之を一本の樹木に譬へるならば農村は根幹に當り工、商は枝葉に當ります。道義國家の生活に於ては農村は國家そのものとしての絶體價值であり工商は國家にとつて利用價值とも云ふべきものであります。

S 911002

2610

I-0426

今日地方に於ける特異の現象は東京から起つた精神運動は初めから相手にせなくなつたのであります。農村に活動するこれらの真鍮なる人々の多くが單なる經濟的見地のみから農村救済を志すばかりでなく確固たる文明觀、人生觀、國家觀を持つて居ることは驚くべき事實であります。而も之等の農村人士の背後には必ず立派な國學者、歴史家及宗教家等が附いて居るのであります。農村運動者の日本文明に對する自覺に比較すれば都會に於ける各種運動家の自覺はずつと後れて居ます。尙事業及人物評は成可く簡單にし詳細は原簿たる協會所藏の日記に載録してあります。

第一部

群馬縣

清水及衛

群馬縣勢田郡水瀬村大字野中

勢田郡水瀬村産業組合長

年齢 六十餘歳
 十六歳の時より實地で穀へ上げ産業組合法が出る前に既に組合を組織して農民の生活行詰の打開に盡せり氏の體験より生れたる産業組合組織は正に農家經營の行詰りを打開する指針たるべし。
 農業上の現實に豊富なり、高松宮更生資金を拜受し且本年より二千圓宛の補助が出向は冷乳設備の爲には農林省よりその半額を補助す。

茨城縣

加藤 完治

茨城縣支那

日本國民高等學校長

山形國民高等學校を創立してより「アンマーク式産業組合」による産業指導の第一人者として全国的に有名、同氏の去る六月四日より梅名山麓に於ける一ヶ月間の滿洲自衛移民の訓練軍にも参與す、訓練の骨子は「日本民族の理想信仰確立」により思想問題を克服し移民により尖鋭問題を解決するにありと。



911002

2612



911002

2611



I-0426

菊池 謙次郎
茨城縣木戸市

水戸史編纂

弓野 征矢太

愛媛縣 松山
水戸市外常磐村三〇三九

栃木縣

松下 吉衛
栃木縣栃木町

一、栃木町幼稚園主
二、東京板橋區板橋町岩ノ坂、敬隣園(主任は谷田部氏)本所林町二ノ七八敬隣館(主任は横山氏)の理事長たり

千葉縣

川名 傳
千葉縣千葉村

千葉村々長及産業組合長

松崎 海一
千葉縣 千葉村

千葉村々長高等小學校長

吉田 三郎
千葉縣八幡村

大正社農産部

年齢 六十餘歳

曾て支那南京之湖の學校並に同文書院等に教授を執り、水戸高校長水戸中學校長たりし經歷を有す。最近は愛媛縣主簿三郎氏等出入してその教を乞へりと、持論は矢張り教育家的なり。

橋本三郎の後継者が頭腦明晰なるが如し。

年齢 四十餘歳
社會事業に熱烈な熱心なり、妹尾義郎氏の熱心と和合恒男氏の農業とは彼の私淑して已まざるところ。

年齢 五十四歳
正規の學歴なし方廣寺住職原廣福師につき漢教を修めし由。頭腦明敏、皮氣色黒眼光鋭し。

村政及産業組合の實踐顯著なり。

年齢 四十五歳

村長を授けて村治に貢献す、經濟に明るく校内に模範産業組合を設け、教育家として情熱あり全村民を教育の對象とするは注目すべき點なり。

年齢 三十六歳

千葉縣八幡町二。約一萬坪の農場經營をなす農業、工業を通じて青年を養成するを目的とし、工業塾は顧問農屋町に在り。漁人として特殊の型に入る可きか。日蓮宗信者。

年齢 四十歳前後

曾て朝鮮に六年間布教且つ學校經營をなし其後横濱に行き昭和七年六月同寺の住職たり、同地戸倉村の生れ、農村に布教せむには農村の生活に即すべし」として法衣に代へて仕事着を纏ふ。

2614

911002

2613

911002

I-0426

宮木 勝美

長野縣埴科郡戸倉

一、昭和五年農産組合を創立し現に同組合事務たり
一、破産状態の戸倉村更生の爲、組合を設立し昭和四年の歳と共に組合員一同の千曲川の中洲開墾を指導し併せて戸倉温泉場の汚物を買ひて組合員の肥料問題の解決に努力せり

山田 幸隆

長野縣埴科郡埴野

一、青年会長
一、宮木氏と協力し埴科郡十七ヶ村の連絡をなし自力更生に協力せんと企畫せり

和合 恒男

長野縣東筑摩郡波多村

項穂精舎頭

郷原 保

長野縣立若年講習所長
目下之を辭して三重縣高等農林學校に轉じたりと云く

四

年齢 三十歳
見事なる體格、近衛權衛上等兵、純然たる農民なり。
入會中に父をなくし、爾來母と七人の弟妹を養ひ且千圓の負債の中ばを返却せる勤勞家なり。
嘗て昭和五年十月農村不況の折村小作科中納運動が地主に反抗して起りし時氏は村に立ち地主が自發的に百五十俵の「モミ」を貸與することし、餓死線上の貧農を救済すると共に事件も平穩裡に治め得たり、村民の信望篤し。

年齢 三十二歳
近衛權衛兵一等兵。純然たる百姓なれど氣骨あり。

年齢 三十三歳
東大文學部出身、農業經營並に思想は清水及衛權藤成兩氏に受けたる如く、夢寐によりて情熱を深めたるが如し、猶生目下十三名日本農民協会の「スローガン」精神、農本自治を指導方針とせり。

年齢 三十一歳
高等農林學校を出で、より友部の日本國民高等學校に學び、長野縣社會教育主事たり、講習生に對して猛烈なる訓練をなせり。

静岡縣

鈴木 清

長野縣松本市

松本高等學校教授

瑞穂精舎頭

金子 行徳

長野縣九子町

信濃絹織物協會社事務取締役

山内 一郎

静岡縣濱名郡吉野村

吉野村長(山内翁)頭

古橋 庄市

静岡縣濱名郡和地山東大山

柳田 秀男

静岡縣濱名郡馬村追分

生ける基督社

年齢 五十歳前後
沼津の大中等住職、釋大層老師に參禪す、和合、郷原兩氏は氏の門下生たり。
渡邊謙英氏の弟子にして同氏の思想を農村工業の上に沿用せるものにして、經營の才に至りては信州第一位。最近村長になれる由。

年齢 二十八歳
吉野村小學校教員、同塾の目的は小學校教育の仕掛けをなすにあり。

年齢 五十餘歳
吉野村小學校校長、吉野村塾の外に補習教育機關として三塾を設け村民教育に熱注せり。
因みに吉野村は全體として特殊部落にて永らく差別待遇を受けし關係止、人心ひがみ、兒童の素質も(辯論が村内に限られたる關係もあらう)よからずと。

年齢 五十前後
嘗て牧師たり女學校長たりし人。
農民と同じ生活をなし自ら耕しつゝ、暮らする農村青年に傳導す、この生活に入りしは三年前にしてその動機は「貧はらざる生活をなす」にありと。

五



911002

2616



911002

2616

I-0426

大野 董一
静岡県濱名郡馬村和地山

聖林社農場

橋本 孫一郎
静岡県小笠郡和草村

雙松學舎

岡本 利吉
静岡県駿東郡岡村葛山

農村共働學校

佐々井 信太郎
静岡県小笠郡土方村

大日本報社副社長

年齢 五十歳前後
目下三方ヶ原地方の國體組合長を経て神戸貿易商たり、眞生活を欲する餘り、貿易事業を弟に譲り自ら農村に入り土に親みつゝ農村子弟の指導に任ず。教育法は逐漸自由にして寧ろ放任主義、教育の目的は一人のなすを好まざる所を過んでなすこととありと現に十四名の青年集へり。

年齢 六十歳位
明治二十四年より四十年一日の如く教育勸諭の御教諭に即して農村子弟を薫陶し來れり。敬神第一、實用事務を銘訓とす。學歴は中學程度、牧養人員は二百名。富岡村葛山より一里餘の山中にあり、一月より四月迄に毎年五六十名を收容して教育す、當時は岡本氏不在にて安達兄弟と他三人留守居をなし開塾せりと。岡本氏は最近横濱あたりに農園を殖きたる由なり。(岡本氏には未だ面合せず)

大日本報社本社は静岡県掛川にあり、社長は岡田其平氏、支社全國に七百餘箇所に四百ありと。佐々井氏は尚ほ中央教化團委員なりとす。報社本社は月一會全國支社より集合して農村教化の相談をなす。(佐々井氏には未だ面合せず)

大谷 英一
静岡県田方郡西浦村久連

久遠國民高等學園々長
興農學園理事

山崎 延吉
三重縣鈴鹿郡石栗岡村

神風義塾々頭

三重縣

大阪府 藤原 淳信
大阪府豊能郡野村大字白ノ島

常照寺隣保館々長
國民高等學校校長

年齢 五十歳以上
農桑組織並に經營で有名な愛知縣羽島郡の生れ、加藤完治氏と親交あり。今有栖川宮紀念高松宮更生長金の顧問等をなす。神風義塾は本年八月招生十三名、職員迄二十名、五丁歩を耕作し、その他養鶏飼牛をなす且下水田なし。農家經營に多角形組織を強調す。

年齢 三十五六歳
常照寺の本願寺派大正十四年までは強寺なりしを氏が復興せしむ。隣保館の事業は(一)保育(二)授産(三)教育保育は農繁期の託兒事業授産は農村子女に職業の紹介教育亦兼として國民高等學校を開き農閑期を利用して農村青年に智識を附與す、國民高等學校は本年より創め、有栖川宮紀念高松宮更生長金の拜受。



911002

2618



911002

2617

I-0426

遠藤 正一
大阪府茨木町
大阪三島部農會農事講習所長

京都府

手代木 文
京都府綾部町
一、丹波教會牧師
二、綾部國民高等學校長

熊本縣

松田 喜一
熊本縣八代郡昭和村
松田農事講習所

年齢 三十餘歳
友部日本國民高等學校出身講習所は現在茨木町にあるが此處岡氏の主張により移轉して講習生の寄宿設備をなすに決定せりと、大都會隣接村として農村青年の奮闘進歩なるも實績は著々舉り先年山形地方に旅行した時も通色のあるなく、本年には自發的に滿洲自衛移民を申出る氣魄ある青年が二人出でたりと。

年齢 三十歳前後
同志者大學出身。國民高等學校は農閑期を利用せる短期の講習合なり、昨年四月創立せり。
同校の設立趣旨は「イエスの精神に基き、神と祖國と隣人とを愛する信念に燃へ新時代に處する學問を理解し共働して我國農村文化を高め充實せる農村生活を實現せんとする有爲なる地方青年の爲にす」と。

年齢 五十歳
農業のナポレオンの人材、強固なる意志と明敏なる理智、頑健なる體格、之を綜合する人間の傑、味北に於ては之に對するもの一潜水及雷氏あるのみ。

永田 市次郎
熊本縣上益喜郡白旗村
大地主
昭和農道業主

工藤 左一
熊本縣菊池郡四合志村
合志義塾々長

垣田 美嗣
熊本縣八代郡金剛村
村長兼組合長

中井 清亮
天草郡手野村
村長兼組合長

葦原 雅亮
熊本縣天草郡手野村下内
眞宗四教寺住職

福岡縣

年齢 六十歳
温厚、地主中の出色の人物なり。佛教の信仰厚く母の命日に因んで二八日會なる會を起し村民を教化す、蓋は新設勿勿にして未知數なり。

年齢 六十四、五歳
西海第一の人格者門弟既に五千人、漢籍の造詣深く識見卓抜なり。

年齢 四十四、五歳
當村の地主にして義勇救國士と共に産業組合に熱心しその成績見るべきものあり。

年齢 五十四、五歳
元造船技術にして銀濟の頭あり、温厚にして德行あり、約七十町を有す大地主なれど強慾ならざる由。

年齢 六十歳
元農會聯合會、初め譯に參し釋宗演武田殿實に参究し後近内常義氏に遭ひて眞宗の信仰を回復せり。
農村教化の實踐見るべきものあり。



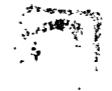
911002



2620112



911002



26192

I-0426

阿部 惣三郎

小野村々長兼産業組合長

年齢 五十歳位
復身にして鼻筋通つた美丈夫、村長には珍らしい農家
なり。小野村は機織町村なり。

伊藤 角一

福岡県早良郡山山村

年齢 三十三歳
安閑なれど少し首従せず、農十學校は農家に失費し
て生産の氣力少く大體失敗なり。農十學校亡びて、伊藤
は生くべし。

佐賀県

保 利 木 作

鬼塚村産業組合長

年齢 五十歳
温體にして頭固あり、産業組合長としては適任なり。

岸 徳 次

大山村産業組合長

年齢 三十五、六歳
温厚にして篤實、大山村産業組合が縣下第一の成績を舉
げしは氏の力による。

永田 宗 次

大山村産業組合長

第二部

澤木 興 道

沼津市外大中正住職兼關東「源道」發

釋 大 爾

修善寺住職

白 長 性

修善寺住職

平 野 覺 性

修善寺住職

于 卦 張 天 順

修善寺住職

秋 元 梅 峰

修善寺住職

日 出 徳 應 壽

修善寺住職



911002

2622



911002

2621

I-0426

日比野 慈康

天童宗方廣寺住職

千葉縣 主基村

藤 示 雄

青英會理事

千住 武次郎

佐賀市赤松町

平 井 敏 輔

佐賀縣小城郡小城町

白 井 敏 輔

佐賀縣小城郡小城町

岩 本 秀 雄

佐賀縣小城郡小城町

岩 本 秀 雄

佐賀縣小城郡小城町

岩 本 秀 雄

佐賀縣小城郡小城町

岩 本 秀 雄

佐賀縣小城郡小城町

岩 本 秀 雄

佐賀縣小城郡小城町

岩 本 秀 雄

佐賀縣小城郡小城町

岩 本 秀 雄

佐賀縣小城郡小城町

笠 木 眞 明

大正建設社駐主

中 野 亨

大 日 社

今 成 顯 法

本 光 寺

宮 本 俊 雄

郵便局長

渡 邊 薫 美

渡邊家塾

渡 邊 薫 美

渡邊家塾

渡 邊 薫 美

渡邊家塾

渡 邊 薫 美

渡邊家塾

渡 邊 薫 美

渡邊家塾

渡 邊 薫 美

渡邊家塾

渡 邊 薫 美

渡邊家塾

年齢 四十歳前後

一見白面の青年に似て顔は醜陋あり、川名氏を援けて村治に賛成せり。寺は遠慮見るに堪えず。

元中學校長にして頗る雄辯に逞んぜらる、日本精神を解すること深し。佐賀市赤松町に今日まで住居あり。

年齢 五十歳前後

渡邊長區。漢語國文に造詣あり、氣節を尚ぶ點に於て現代職業的教員家中に稀に見るの士たり。

年齢 三十八九歳

温厚にして精因。一徳園の生活に際し深木真道師の薫習に参究す。學生には哲學研究會を指導す。

多久養護院附屬の東原岸合復興につき大日本協會の援助を求め來る。

年齢 四十二歳

東大卒、羅小なれど氣宇大なり。佛教信者にして信念の人、元東亞經濟事情調査局、滿洲人事情、滿洲國自治指導員訓練所々長たり。嘗て滿洲建國當時は大衆佛教的信念により大ひに努力せし人なり。

年齢 三十六歳

神田旭町一番地。杉浦重剛先生の親好遊藝後の遊頭、大日社駐主。朴勤厚にして國學の造詣殊の外深し。唯神道の教者、茨城の産、中大卒。

年齢 三十四歳

品川、本光寺住職(日蓮宗)。東洋大卒、中外日報に筆力を振ふ、奇骨あり。佛教俱樂部を主宰、交遊多方面に亘る。

年齢 五十歳位

無業的興味多分、自費を以て圖書館を建設し、又毎朝未明に鐘を鳴らして早起をすすむ。その部下に人を得たるが如し。

年齢 四十五歳

體格的理想家として智力第一等なれども情狂的にして事を共にすべからず。



911002

2624



911002

2623

I-0426

堀 祐 平	桐生市巴町 市合議員	佐藤 賢	群馬縣高崎市宮本町 國防同盟會長 會員七千人 婦児救済 會	星子 政夫	群馬縣事務部長	田代 倉太	佐賀縣農林主事	中 野 孝		笠 木 夏 郎	大分縣
-------------	---------------	---------	----------------------------------------	----------	---------	----------	---------	-------------	--	------------------	-----

年齢 五十歳以上
 耳遠し。篤家。
 キリスト教なれども深き哲學なし。體格瓦し。親分肌る
 り。

年齢 五十歳前後
 本職は醫師佛敎思想に造詣深し。温厚にして積身健直勇
 の感あり。

年齢 四十歳前後
 官吏中に珍らしき東洋的思想家なり。官更なるが故に親
 念的なるを免れずと雖同志として捨て難き人物なり。

年齢 四十歳
 温厚篤實にして頭腦明敏。下級官吏中稀に見る良材なり
 佐賀縣内産業組合の發達は氏の努力によりて一層生彩を
 増さん。

S 911002

2625

I-0426

昭和八年十一月

旅後感想

大日本協會 鬼崎徹誠

1万
(印)

911002

2626

I-0426

「足跡録第一輯」を出してから約一ヶ月半の日子を費して東北地方及び中国地方を農村本位に一通り廻つて見ました。各地に於ける人物並に事業の詳細は「足跡録第二輯」に收めることとして、ここに兩地方の農村の現状を大體比較對照して併せて今後に於ける農村對策に關して愚見を述べて見度いと思ひます。

本州を南北に三等分すれば東北地方及び中国地方は稍々北部の一分劃をなし従つて自然的條件も大ひに異なり勿論各縣多少の差異はあるが大體に於て兩地方の特徴を抽出することが出来る。東北地方は中国地方に比して甚だ自然的條件が不利である、それも福山、山形、宮城、秋田あたりまではまだしも岩手、青森の兩縣の如きは特に耕種農業に恵まれない青森縣の如き雪害の爲に約半ヶ年屋内に閉ぢ込められ主なる物産としては米と林位しかない、然し中国地方は一般にこの自然的條件が有利で

所謂多角形組織の農業が意のままに出来る、米、麥、大豆、ハツカ、ホ、メキ、烟草、果樹、家畜等作すとして可ならざるはない、又ブト一專問の如き所謂直線農業或は峙形農業でも工夫さえすれば優に全國を凌駕しうる、農家が年千圓の純利益を擧げるは普通だと云ふ地方もある、従つて農村社會教育及社會事業も兩地方自から其の面目を異にして居ます。東北地方にては、比較的豊かな宮城、秋田を除きこの一兩年來縣廳が社會教育に力こぶを入れ概して縣廳で統一して居る觀がある、山形の國民高等學校及び之に倣ふ修養道場、岩手の六原道場及び之に倣ふ陽和郷農士道場、青森の青年道場の如き、或は福山が縣の指導により大日本報徳社の佐々井信太郎氏を聘し五ヶ町村を指定して更生計畫を試しつゝある如き皆組織的或は精神的に縣廳が中心となる感がある。かくの如く官民よく調子が揃つたのは縣當局が相當熱心なのと農民一般



911002

2628

S00110



911002

2627

S00110

が従順なるとそれから自然開條件に恵まれない上に往年の天災の酸を嘗めて協同の必要を痛感した結果であらう。宮城、秋田は民間で分立的にやつておるのが二三ある何れも教育の目標は協同、勤勞、魂の養成に主を置いておる。之に反して中國地方に於ては東北地方の如く必要に迫られないのであらうか縣廳を主體とする農村社會教育の看るべきものなく何れも月並的にして中央の大日本青年聯合會或は篤農協會等と呼びかけられて初めて動く程度である。民間のものにも大したものなく國民學校或は農民福音學校等の名はあれど總て補習教育の域を脱しない大體公民智識の附與農業技術の改良を教育の目標に置くのであります。

農村社會事業の方は東北地方に於ては縣廳の事業にして看るべき物が無い、託兒事業等も微々たるものである、又民間にありても其の數に乏しい、只一村或は一部落を單位に村長或は當地の人物を中心として行へ

ものを散見する、之は當地方が貧窮なるが故に生れた事業で貯蓄組合或は報徳社支社の如きもそれが産業組合のやうに組合員の利益増進を主眼とはしない、組合員或は社員生活の生活の保障の爲にのつびきならず生れたものである、即ち一村或は一部落民の安定を主眼とする、例へば青森縣七和村の郷藏の如きも現在の農業倉庫のやうに高價に賣らんが爲の一時的貯藏ではなく舊藩時代から村民が分に應じてモミを貯藏して不作或は不慮の天災に遭遇した場合必要に應じて分配する爲のものである。之に反して中國地方は縣廳の社會事業が非常に盛んである。方面委員制を創めたのは岡山縣であり託兒事業は民間と呼應して兵庫、岡山、山口等何れも盛んなもの又授産事務其の他も他地方に勝れておる、而して又産業組合農會等も活潑なものである、託兒事業の盛んなる事は當地方の農民が貧困だからではなく當地方が自然的條件に恵まれておるからだと思ふ

S 911002

2630

S 911002

2629

即ち働かうと思へば幾らでも働ける、働きさへすれば収益は増す、例へば婦女子でも子を織れば段當り六七百圓の収益がある、故に一家擧つて労働する、其の爲に手足纏ひの小兒を預ける者が多いのだと考へる。又産業組合農會の活潑なのは物産が多くて充分の統制事務がとれるからである、之は東北地方で流行の波に乗つて設けた産業組合が農民に負擔を殘したまゝ、瓦解し或は遅々とし振はないのとよくその原因を比較考究する必要があると思ひます。

次に兩地方の青年に接した感想を申しますと東北の青年は流石に研究心に乏しい、然し之は先天的性格とのみ言ふべきではなく一つには自然的條件に恵まれない爲でもあると思ふ、岩手縣九ノ戸郡の山奥では栗、シメジ等を常食とする而も健康状態は徴兵検査の成績により推せば決して悪くないと言ふ、之は特例であるが、簡単な生活にも甘んじておる

のは一面環境が研究に向かないことも參酌しなければならぬ、福山縣では櫻桃栽培の成績も大いに成功した青年もあるが之も一つには當地が櫻桃の栽培適する爲である、之に對して中國地方特に兵庫、岡山あたりでは農業經營、農家經營、フドー、養鶏、レンコンの栽培等に研究を續み或は農具の發明をなす青年が續出する有様で一般に研究心が旺んである之も一つには當地方が自然的條件に恵まれ研究に便なるが爲である。兎角中國人は一般に進取的であり東北人は一般に保守的であるとも言へやう、然し其の半面に東北人は自然的條件に恵まれない爲、分に安んずる長所が不知不諱の中に養はれたのであらう、接する者に健實味を感じしめる。

例へば或青年團長の如き大正の好景氣に毒まれて破産に瀕した自村の更生を目ざし十年一日の如く團員を指導して朝四時起床勤務又勤務遂に今

S 911002

2632

S 911002

2631

日見事村を建直したのであるが地味なるが故に名が外に現れない、然し知られざるを恨みともせず大して功を誇る氣色もない。勿論中國地方の青年でも間には健實な者もある。例へば大日本聯合青年會より産業賞を貰つて却つて淋しさを感じず何となれば何にも農に對し理解がなく、只月並的の奨励の意味で與へられるのではないかと思ふ等訴へる青年もある。然し一般に農村青年が従前とは面目を一新し非常に眞剣になり單に農業技術の改良のみでは満足しない様な傾向になつたやうであります。要之、東北地方農村の現情は勿論税負擔力は皆無であらうが精神力に於ては隆々たる感があり、協同事業を看ても實に無駄がなく眞剣味横溢せる感があつた。之に對して中國地方は經濟知識、公民知識は至極豊富であり利益増進に對する用意も亦周到なものである、然し組合其の他の諸團體等の集會が多くその會合も金廻りがよい爲宴會が附ものと言ふ風で眞

劍味に乏しい地方が多いと言ふ、この兩地方の一長一短は兩地方の實生活の相異に由來するもので又已むを得ざる哉である、貧にして亂せず、富にして淫せずならしめんが爲にはどうしても各地方に生活其のもの、中心となるべき人物が必要であらう。

而して又各地方毎に實情が異なり自然的條件が異なるから農村對策も一律的に行へば各地の實際の要求に即しない恐れがある。例へば先年中央で産業組合の擴充を目的として餘り奨励するものだから何等の方針もなく又準備もなく作つて見た所が却つて負擔を増したまゝ、瓦解した今日に至つて漸く産業組合の必要を感じ經營の方針も立つと言ふので再建を主張するが村民は最初の苦い經驗に懲りて氣乗簿で困る言ふ者もあつた。又岡山縣では此度の農村救済土木事業で自動車も通れる大道路をこしらへるのは却つて事になつたが農民にして見れば現在必要もないのに田

S 911002

2634

S 911002

2633

の中に大道路をこしらへるのは却つて耕地を狭める丈が迷惑だ、然し之
の中止を主張すれば救済資金も下らぬと言ふので濫々やることになつた
と言ふ地方もある。こんな實例に徴しても農の如き自然的條件に決定的
制約を被るものは改善事業の如きも當地方の實生活に即した人物に一任
する。乃ち自治を根本とするやり方でなければ無駄ではないかと思はれ
ます

(一一、二五)

山田守る賤とや言はんなかなか

今は國守るたからなりけり

(徴 賦)



911002

2635

I-0426